

消費者として生産から廃棄までを意識し 責任を持った生活を

生活クラブ生活協同組合神奈川 副理事長 佐野めぐみ

東京 神田にて寿司屋の孫娘として生まれる。

5歳違いの妹のアトピーなどのアレルギーでの引越し

横須賀市、横浜市にも住み、品川区に。就職後は大手町、渋谷、新宿で勤務。

1997年に結婚し、川崎市民に。2人の男子の母、4人家族。

長男が市販の離乳食でアナフィラキシー反応！ 添加物アレルギー。

質の良い牛乳を！と医師に言われて、生活クラブ生協に加入。



誰もが安心して暮らせる、未来を担う子どもたちが、希望を持って生きていける社会を目指した活動

☆自分の暮らす地域で、自ら行動すること

☆自分たちで発想して、自在に、豊富に、活動をすること

☆参加する仲間を増やすこと



自分・人・全ての命を大切に思う心を育んでいける、持続可能な地域社会づくり

各地域の特性に応じた活動、地域力が発揮されることを目指して

共感する人をふやして、おおぜいの仲間と共に、伝えて、すすめていく



今を生きる私たちの選択は、
どんな未来をつくりたいのか！
の意思表示



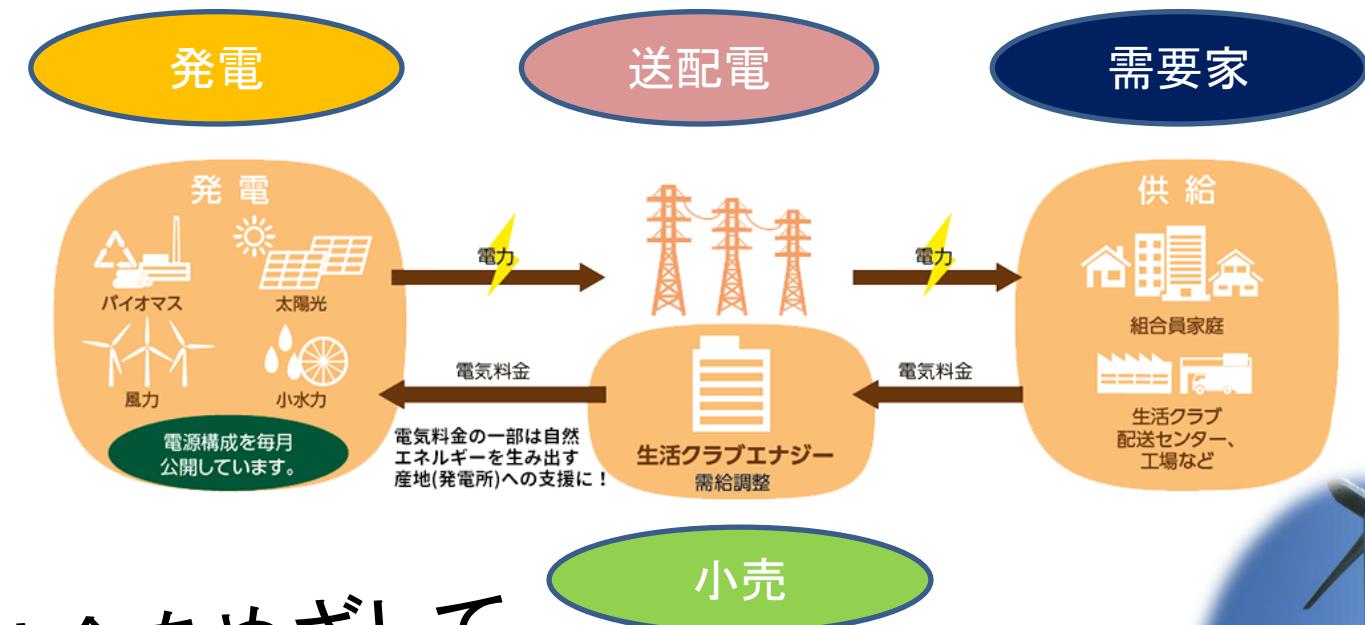


今、再生可能エネルギーを選ぼう！

みんなでつくる、つかう、つなぐ。



2014年10月 株生活クラブエナジー設立
2015年 4月 事業所への電力供給開始
2016年 6月 組合員宅へ電力供給開始



人と自然が共生していく社会をめざして
生活に欠かせないエネルギーも自給へ



事例 容器(びん)のリユース

「購入したのは中身だけ」
使い終わったらびんは返却するグリーンシステムに
参加することで不要な容器を減らしています



(高津区)		
高津区役所	高津区	
高津区役所橋出張所	高津区	
高津市民館	高津区ノクティ	
高津図書館外部リンク	高津区	
高津スポーツセンター外部リンク	高津区	
プラザ橋	高津区	
高津こども文化センター外部リンク	高津区溝口3-10-8 1階玄関ホール(階段横)	
末長こども文化センター外部リンク	高津区末長3-25-8 事務室横	
二子こども文化センター外部リンク	高津区二子5-14-61 入口ホール	
上作延こども文化センター外部リンク	高津区上作延5-26-55 遊戯室正面	
子母口こども文化センター外部リンク	高津区子母口983 入口ホール	
梶ヶ谷こども文化センター外部リンク	高津区梶ヶ谷6-1-10 入口ホール	
東高津こども文化センター外部リンク	高津区下野毛1-3-2 入口ホール	
末長いこいの家		



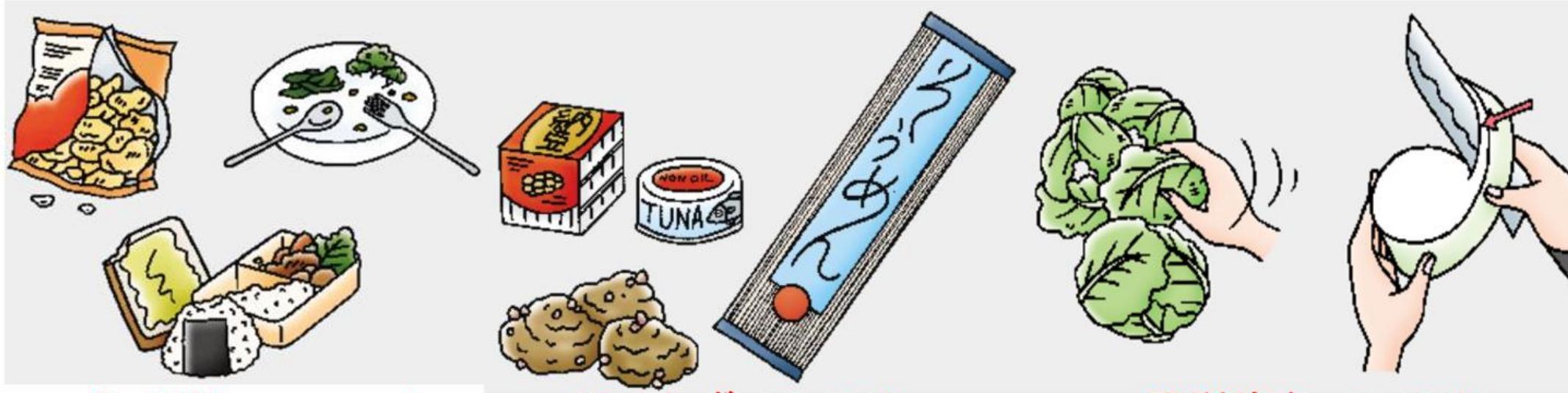
事例 給水スポット
区役所、図書館、こども文化センター、
老人いこいの家など人が集まる場に設置



神奈川県内の家庭系食品ロスの焼却費用・CO2排出量

◆処理費用約84億8600万円(1t当たり40217円)

◆温室効果ガス排出量(CO2)=約51,400トン(1t当たり243.6kg)



食べ残し 123,000トン

・作りすぎ・買い過ぎ・好き嫌い・
ちょっと残し等

◆処理費=49.5億円/年

●CO₂ = 31,083トン

手つかず 53,000トン

調理されず、何も手がつけら
れずに廃棄される食品

◆処理費=21.3億円/年

●CO₂ = 12,911トン

過剰除去 34,000トン

野菜や果物の皮を厚くむきす
ぎたり、取り除きすぎたもの

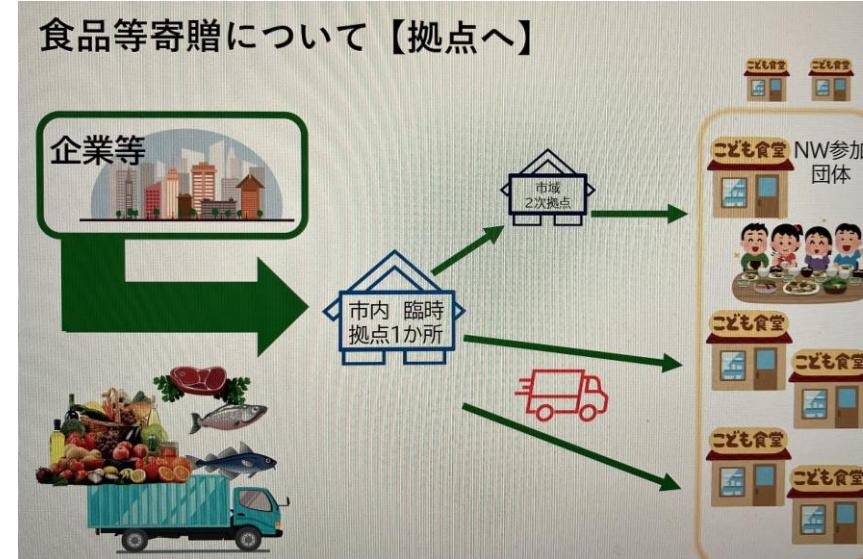
◆処理費=13.7億円/年

●CO₂ = 8,282トン

神奈川県環境農政局及び横浜市資源循環局のデータを基にフードバンクかながわで算出した推計値

出典：フードバンク神奈川 事務局長 藤田氏
かながわ気候市民会議in逗子・葉山における説明資料

フードバンク フードパントリー / こども食堂



フードドライブ

家庭に眠る食品を提供いただき、フードバンクを通じて支援が必要な方々に届ける活動。→食品ロス削減に

■ ご寄贈できる食品

- ・常温で保存できるもの
- ・開封されていないもの
- ・賞味期限が明示され、残り2か月以上あるもの（米、砂糖、塩、化学調味料・ガムなど期限表示義務のないものは表示がなくてもOK）

■ ご寄贈できない食品

- ・アルコール類（ノンアルコールビール等含む）
- ・生鮮食品、冷凍・冷蔵食品・包装が破れているもの、賞味期限の記載のないもの等

■ 喜ばれる食品

- ・お米（前年度産迄で1合でも可）
- ・カップ麺
- ・調味料・食用油など
- ・お菓子・粉ミルク・フルーツ缶など
- ・麺類（そうめん、パスタなど）
- ・缶詰、レトルト食品等
- ・おかずになるもの

出典：フードバンク神奈川 事務局長 藤田氏
かながわ気候市民会議in逗子・葉山における説明資料

事例 食べきり、生ごみ減量



かながわりサイクル認定製品



環境ラベル

- 環境ラベルとは、商品やサービスがどのように環境負荷低減に資するかを教えてくれるマークや目じるしのこと。
- 製品や包装などについており、環境負荷低減に資するモノやサービスを買いたいときに、参考になる。
- 価格や品質だけでなく、リサイクルのしやすさや環境のことを考えて、グリーンな商品やサービスを選びましょう。

環境省のHPだけでもこれだけのマークが掲げられている。100以上？



環境ラベル について



エコマーク



レインフォレスト・アライアンス認証



FSC®認証制度(森林認証制度)



古紙パルプ配合率100%再生紙を使用



PETボトル
再利用品



低排出ガス車認定

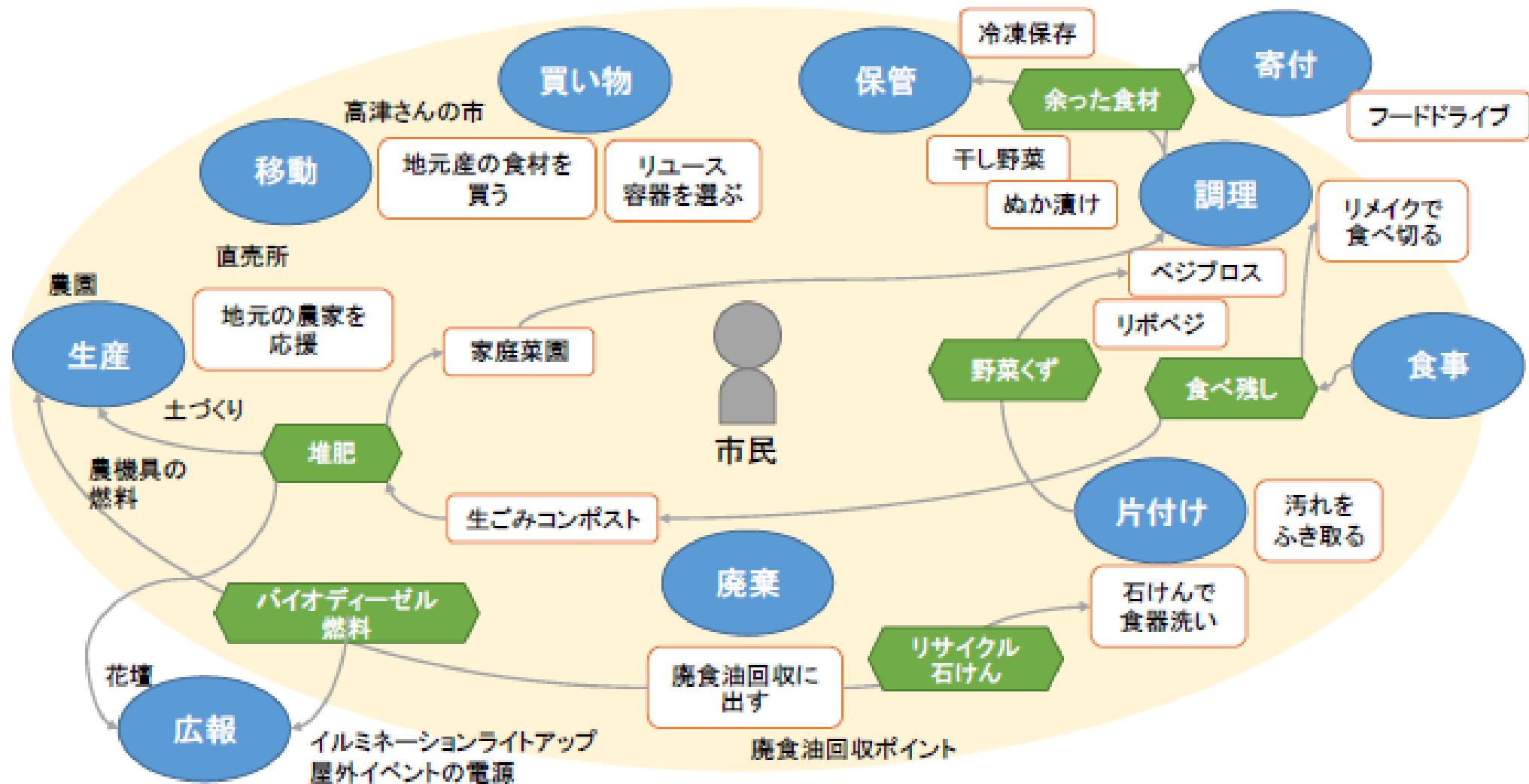


海洋生分解性プラ

事例 地産地消 脱プラスチック



選べるエコ活動メニュー



市民(町民の)行動変容で、どの程度のCO₂排出削減につながるか(LCAで見る)

取組み	削減量CO ₂
マイカーを電気自動車に・充電は再エネ	300kg
都市内の移動を公共交通機関か自転車で	390kg
まとめ買いをする	150kg
自宅を断熱リフォーム	140kg
自宅の電力を100% 再生可能エネルギーに	1190kg
自宅に太陽光パネル	1240kg

取組み	削減量CO ₂
肉類を代替肉に	200kg
地元の野菜や果物を食べる	10kg
旬の野菜や果物を食べる	50kg
食品ロスをゼロ	60kg
衣類を長く着る	310kg
小型家電を長く使う	60kg
消耗品を長く	100kg

LCAで見る…ゆりかごから墓場まである製品の、原料採取から、生産・流通・消費を経て廃棄に至るまでの間のCO₂排出

出所:国立環境研究所・IGES「国内52都市における脱炭素型ライフスタイルの選択肢カーボンフットプリントと削減効果データブック